

大田原市の文化財について



菊地 英樹 議員

一般質問



前田 則隆 議員

障害者差別解消の推進について

質問…那須神社本殿、楼門とその周辺の建造物の修復事業の計画や進捗状況について伺います。

答弁…本殿及び楼門は、平成26年1月に国の重要文化財に、また那須神社境内全域も同年3月に国の名勝に指定されたことを踏まえにわかに老朽化した各建造物の修復の機運が高まり、翌平成27年には国指定建造物の修復の計画設計や施工管理を専門

とする事業者にて修復に向けた調査や設計の協力を求め、平成28年4月には那須神社関係者により那須神社本殿等復元改修事業実行委員会が設立されました。

本殿及び楼門以外の各建造物を国の補助を得て修復するためには国の名勝としての保存活用計画を策定する必要があることから、現地調査や測量等を踏まえて同計画の策定作業を進め、

本年11月に完成したところです。計画の完成とほぼ同時期に再度専門の事業者にて修復に向けた調査や設計の協力を求め、去る11月12日、13日に再度の現地調査が行われ、修復に向け本格的に動き始めたところです。現在の見通しとしましては、詳細な調査や設計を踏まえ、早ければ令和5年度には修復工事に着手できるものと見込まれています。

質問…障害者差別解消法施行後、約4年が経過するが、市の取り組みについて伺います。

答弁…昨年度は、栃木県政出前講座を利用し障害者差別解消研修会を行うなど、障害者の差別の解消に向けた取り組みを行っています。今後も、令和3年1月号の「広報おおたわら」に関連記事を掲載する予定でありまして、市広報、ホームページ等

で広く市民の方々に周知するとともに、継続的に研修会等を実施するなど、障害を抱えた方もそうでない方も互いに認め合い、共に生きる社会の実現を目指して取り組んでまいります。

質問…市職員に対する研修について伺います。
答弁…障害者差別解消に関する市職員の研修については、初級職員研修において実施していま

す。研修では法律制定の背景、社会的障壁及び合理的配慮などについて相談事例を交えた講義内容となっております。令和3年1月15日には、市職員を対象として、障害者に対する差別の解消に向けた研修を予定しており、差別解消への理解と対応を推進してまいります。